



筑波大学  
*University of Tsukuba*



筑波大學台灣校友會會刊  
UNIVERSITY OF TSUKUBA  
TAIWAN ALUMNI ASSOCIATION COMMUNICATIONS



筑波大學台灣校友會  
UNIVERSITY OF TSUKUBA  
TAIWAN ALUMNI ASSOCIATION  
10672台北市大安區長興街81號  
筑波大學台灣校友會秘書處  
02-3366-9313

# Contents 目次

## 会長挨拶

- 2 校友会会報の第8号発刊にあたって

## 筑波大学から

- 4 筑波大学学長挨拶
- 6 沿革
- 8 募金要項

## 校友会活動報告

- 10 筑波大学開学50周年、創基151周年記念式典・祝賀会・イベントに参加して
- 14 「蔡茂豊教授と台湾日本語教育」記念国際シンポジウムにて
- 16 第7回台湾人若手カフェ
- 20 台湾大学ラグビーチームとの国際交流
- 22 少年野球の国際交流活動を開催

## 校友紹介

- 24 「母の台湾」から「ぼくの台湾」へ

## 留学生だより

- 30 「従前の種々のことは皆今の私となっている。収穫するには先ず蒔くことだ。」
- 32 語学学校から筑波大学社会工学へ

## 校友交流

- 34 校友の近況
- 36 親睦会

## 台湾オフィス報告

- 38 筑波大学台湾オフィス便り
- 40 筑波大学校友会規約
- 42 編集後記

## 會長的話

- 3 會長的話

## 筑波訊息

- 5 校長の話
- 7 校史沿革
- 9 捐款

## 活動報告

- 11 参加「筑波大學設校50周年、創基151周年記念式典・祝賀會」記實
- 15 「蔡茂豊教授與台灣日語教育」國際學術研討會
- 17 第七屆台灣年輕人座談會
- 21 臺灣大學橄欖球隊國際交流
- 23 少棒小選手移地訓練

## 校友寄語

- 25 從「母親的台灣」到「我的台灣」

## 學生寄語

- 31 「種種從前，都成今我，要怎麼收穫，先那麼栽」
- 33 淺談從語言學校到選擇並就讀筑波大學的社會工學

## 校友交流

- 35 校友近況
- 37 親睦會

## 台灣辦事處報告

- 39 筑波大學台灣辦事處
- 41 筑波大學台灣校友會章程
- 42 編輯後記

## 校友会会報の第8号発刊にあたって

文 ● 筑波大学台湾校友会会長 邱若山（1987-1992文芸言語研究科 静宜大学・東吳大学日本語文学系／清華大学歴史研究所 非常勤教授）

筑波大学台湾校友会会長の邱若山です。

3年間、世界にその暴威をふるい、人類社会全体を虐げ、苦しめた COVID19は、去年、やっとのことで下火になり一般流感化になって、2023年3月18日の第8回校友会総会を行うことが出来ました。母校の永田学長を始め諸先生方を迎え、久闊を叙することが出来、最高に嬉しいことでありました。今年の総会も、永田学長並びに更に多人数の先生方のご来訪をいただけること、欣喜の限りです。

今年も、皆様のご尽力とご協力のおかげで無事に会報第8号を発行できる運びとなりましたことに、執筆者及び編集の皆様にご心より感謝を申し上げます。

去年の総会で、本校友会2016年成立当初より三期会長を務めた林華章会長は、続投を固く辞すると同時に、その後継ぎに私を指名、推薦したお蔭で、また皆様のご認可の下で忝く会長を拝命させていただき、幹事会を再編しました。学識、経歴、社会性のすべての面において遥かに及ばないことに自覚しながら、会務に戦々競々に臨んでいます。林会長が築いた礎の上で段階的な任務を果たす所存です。会員の皆様のごさらなるご支持、ご鞭撻をお願い申し上げます。

ここに、本会成立目的は校友たちの交流の場であるということ、改めてお伝えしたいと思います。

### (1)筑波大学及びその前身となる学校に在籍した校友を対象としていること

筑波大学は1872年に東京高等師範学校としてその歴史が始まり、東京文科大学（1929年）、東京教育大学（1949年）を経て、1973

年につくば市に本部キャンパスを移転して筑波大学となりました。本校友会は、このような筑波大学の歴史を踏まえ、筑波大学およびその前身となるすべての大学・組織で勉学、経歴した校友の集う会を目指しています。

### (2)台湾人、日本人を問わず、台湾在住の方々を対象としていること

本会の幹事会にも、台湾人と日本人の校友に参加いただいています。国籍を問わず校友同士が共に盛り上げていく校友会を目指しています。

### (3)校友同士の親睦及び台湾と日本との相互交流と友好発展に寄与すること

校友同士の懇親会、筑波大学と台湾の交流支援などを企画実施していきます。毎年発行する本会報もその一助となればと考えています。皆様の方で活動企画などありましたら、是非幹事会へご連絡ください。校友の皆様と情報共有するとともに協力して活動していきたいと考えています。

### (4)これまでの交友活動に敬意を払うこと

本学の151年に亙る歴史の中で、様々な先輩・後輩の方々が、校友間の親睦や筑波大学との交流に貢献されてきました。このような活動に敬意を払い、また校友間でこれまでの活動を共有するためにも、本会報などに取り上げて行きたいと考えています。是非とも御寄稿ください。

会則および幹事については本会会則をご覧ください。

よりよい校友会にしていくために、皆様のご意見を歓迎しております。何かありましたら、私または幹事会へ是非お知らせください。

今年もよろしく願います。

筑波大学台湾校友会 会長 2024年3月吉日

## 校友會會刊第八期 會長的話

文 ● 筑波大學台灣校友會會長 邱若山  
（1987-1992文芸言語研究科 靜宜大學・東吳大學  
日本語文学系／清華大學歴史研究所兼任教授）



邱若山

大家好，我是筑波大學台灣校友會會長邱若山。

肆虐三年的武漢肺炎新冠狀病毒，在去年(2023)終於成為一般流行感冒化，去年的第8次總會(3月18日)，在闊別三年之後，迎接永田校長及母校師長們的蒞臨，是最大的喜悅。今年(2024)的第9次總會，永田校長率領更多位母校的師長前來參加，更讓我們倍覺欣幸。

第八期的台灣校友會會刊一如往年能順利付梓，在此向提供文稿以及盡力幫忙編輯的各位同仁，獻上無盡的感謝之意。

去年總會時，從2016年2月20日筑波大學台灣校友會成立當初連續擔任三任期會長的林華章前會長堅持不再續任，推派本人接棒。本人自知學經社歷無一可及，經各位會員學長姊的認可選出，承乏會長職務並組幹事會，誠惶誠恐。繼續林會長所奠定的基礎與方向勉力承擔推進會務，完成階段性任務，懇請大家的厚愛與支持。

### (1)本校友會的人會資格，以筑波大學及前身大學校友為對象。

筑波大學始於1872年創校之東京高等師範學校，經歷了東京文科大学（1929年）、東京教育大學（1949年）的時代，於1973年把校本部移到筑波市，以此地為名而成立了筑波大學。故本校友會以此歷史的軌跡為本，以集合在筑波大學及前身之所有大學求學、生活經歷之校友為目的而設立。

### (2)不分國籍，以居住在台灣的校友為對象。

以本校友會的幹事會為例，台灣的校友

和日本的校友皆擔任幹部，不分國籍，一同為台灣校友會的活動盡心盡力，以融合不同國籍的校友為目的而設立。

### (3)以增進校友間的感情，加強台灣與日本間相互的交流與發展為目的。

將策劃校友間的聯誼活動，並支援筑波大學與台灣之間的交流，每年發行之會刊，即為此目的而策劃，希望能對促進聯誼有所助益。諸位校友若有其他活動企劃的想法，也煩請跟幹事會聯絡。願校友們都能在共有共享的基礎上，互助合作，為本校友會的活動增添色彩。

### (4)向歷來的校友會活動致敬

在母校151年悠久的歷史中，有些校友先進為校友活動貢獻良多，在此向歷來的校友會活動參與人員，致上最高的敬意與最深的感謝。為了與所有校友們分享校友會在一年間的交流活動，我們每年將其編輯成冊，在此歡迎各位校友不吝惠賜稿件，在會刊的取材與內容方面，也歡迎隨時提供我們寶貴的意見。

另外，也將台灣校友會的章程附載於本會刊中，還請各位會員務必過目。

各位會員的賜教都將促進本會的成長，有任何意見都請直接與我或幹事會聯絡，再次謝謝各位。

筑波大學台灣校友會 會長 2024年3月吉日

筑波大学は、1872年に明治政府によって我が国で最初の高等教育機関として創立された師範学校を創基として、東京教育大学に至る歴史を経て、1973年に「新構想大学」として誕生し、2023年に創基151年、開学50周年を迎えます。

本学は、あらゆる面で「開かれた大学」という建学の理念のもと、従来の観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現するために、「不断の改革」を進めてきました。本学の前身である東京高等師範学校の校長であった嘉納治五郎氏は近代柔道の父として名を知られていますが、それ以上に重要なことは理想に溢れた優れた教育者であり、日本の高等教育を国際社会に開いた先駆者であったということです。また本学は総合大学としては他に例を見ない幅広い学問分野を有しており、専門分野を深化させながら、新たな学際融合・横断的な教育研究を積極的に開拓してきました。

現在、私たちを取り巻く環境は、激変するグローバル社会の中で、混乱の度合いを増しています。グローバル社会の中では、国際紛争・テロリズム、感染症あるいは経済・金融問題などを例に取るまでもなく、問題は国境を超えて瞬く間に広がっていきます。エネルギーや環境の問題、産業と経済の活性化の問題など、解決すべき課題は地球規模で共有しなければならない問題であり、解決に向けては従来型の発想を越えたイノベーションが必要です。

これらを解決するために、本学には教育、研究、およびそれらを基盤とした社会貢献が求められています。研究学園都市で新構想大学として出発した本学は、先端的な研究教育拠点、知の国際連携活動拠点、そして我が国の産官学協働の拠点として育ってまいりました。今後は、本学は持てる力を結集して、地域と地域社会、国と国民、世界と人類の公益に資する開かれた大学として努力を続けてまいります。そのためには、共に進む卒業生や関連する企業などの皆様からのご指導、ご鞭撻が必要です。

こうした思いの実現に向けて、「世界トップレベルの研究支援」、「国際交流とグローバル人材の育成支援」に関する支援のための「創基151年筑波大学50周年記念基金」を創設いたしました。つきましては、全てのステークホルダーの皆様にご理解いただき、記念基金へのご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

国立大学法人筑波大学長

永田恭介

ごあいさし

筑波大学は1872年明治政府時期我が国最初的高等教育機関一師範学校を創基として、歴経東京教育大学の階段、1973年に「新構想大学」を創設した。2023年即創設151年、即本校が迎える創設50周年。

本校は「開放性大学」を基礎建校理念として、率先して既不受舊有観念の拘束した「可調整的教育研究組織」を、又兼顧下世代が企求する「嶄新の大学体制」を、以此理念「不断の改革」を至今。曾經擔任過本校前身的東京高等師範学校校長的嘉納治五郎校長、他不僅是以近代柔道之父聞名的一位充滿理想的優秀教育家、也是將日本的高等教育開拓到國際社會的先驅。本校擁有別處所沒有、涵蓋極其廣泛的學術領域之綜合大學、積極地在專門領域上深入研究、並開拓創新的融合不同學門、橫跨各領域的教育研究。

現在我們所面對的是一個在變化多端的國際社會中、混亂的程度與日俱增的環境。在這樣的國際社會中、國際紛爭、恐怖攻擊、傳染病以及經濟金融等等問題不勝枚舉、而且持續超越國界地迅速蔓延。還有能源與環境、產業與經濟的活性化等等也是全球共有的問題、這些都必須以全球整體規模來思考解決之道、超越既有的思維、尋求創新的見解。

本校的教育與研究都是為了要根本解決以上問題、冀求對社會有所貢獻。本校是在筑波市這個研究學園都市上建立起來的新構想的大学、因此集合了最先進的研究教育機關、跨國的合作據點、我國產官學合作據點等豐沛資源、因此得以成長茁壯。此後、本校也將全力以赴、為地域與社會、國家與國民、世界與全體人類的公益持續付出最大的努力。所以我們需要各位畢業生、關連企業界的各位給我們莫大的指導與鞭撻。

為求實現理想、本校創設了「創基151年筑波大学50周年紀念基金」、協助「世界頂尖研究支援」、「國際交流與跨國人材的培育支援」相關的資金支援。在此懇請秉持您一貫對本校的熱誠支持、理解本紀念基金的創立宗旨後、惠賜您的捐贈贊助、在此先向您致上最誠摯的謝意。



# 沿革

## 1872

- 5月29日、東京に師範学校設立。

## 1886

- 東京師範学校は高等師範学校と改称。



## 1893

- 嘉納治五郎、校長に就任。



## 1920

- 東京箱根間往復駅伝競走大会優勝  
金栗四三が設立した、東京箱根間往復駅伝徒歩競争大会(現在の箱根駅伝)第1回で東京高等師範学校が初優勝を飾った。



## 1929

- 東京文理科大学設置。




筑波大学の起源は1872年、日本初の教員養成機関として発足した「師範学校」にさかのぼります。それから101年、東京教育大学の移転を契機に、よき伝統と特色を生かしながらも、わが国ではじめて抜本的な大学改革を行い、1973(昭和48)年に「開かれた大学」を建学の理念に総合大学として発足しました。開学から40有余年、筑波大学は初心を忘れず、しかもつねに時代を先駆ける大学を目指して不断の改革を続けています。



## 1949

- 国立大学設置法(昭和24年法律第150号)により東京教育大学設置。



## 1956

- 朝永振一郎、学長に就任。  
東京教育大学第2代学長。1965年、ノーベル物理学賞受賞。くりこみ理論の発明により、量子電気力学の発展に寄与。1969年、東京教育大学名誉教授に就任。



## 1973

- 国立学校設置法等の一部を改正する法律(昭和48年法律第103号)により筑波大学を設置。



## 1992

- 江崎玲於奈、学長に就任。  
筑波大学第5代学長。1973年、ノーベル物理学賞受賞。現代のエレクトロニクスの基礎を担う半導体物理学分野の発展に寄与。1998年、筑波大学名誉教授に就任。



## 2004

- 国立大学法人法(平成15年法律第112号)により国立大学法人筑波大学を設置。

1. 名称 ———— 「創基151年筑波大学50周年記念基金」

2. 目標金額 ———— 10億円

3. 募集期間 ———— 2024年3月31日まで

4. 支援内容 ———— ●研究支援・人材育成支援[世界トップレベルの研究支援]

幅広い学問分野において、真理を深く探求する研究と、研究成果の社会還元を目指す研究の両面において、世界トップレベルの最先端研究を展開する。

また、最先端研究とともに基礎研究を着実に実施する。



●国際交流とグローバル人材の育成支援

日本人学生の海外留学支援、優秀な留学生に対する経済支援、学術研究水準の向上とグローバル人材の育成を支援する。

5. ご寄附の方法 ———— (1)お振り込みによるご寄附[銀行・郵便局]

所定の振込用紙に必要事項をご記入の上、お近くの金融機関の窓口にお出してください。

(2)オンライン決済によるご寄附

[クレジットカード決済、インターネットバンキング決済(ペイジー)、コンビニ決済]

「筑波大学基金ウェブサイト」よりお申し込みください。

<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>



6. 顕彰・特典 ————

●寄附者銘板 ● 個人で10万円以上、法人で50万円以上のご寄附(累計額)を賜りました方につきましては、大学会館エントランスホールにございます「筑波大学基金寄附者銘板」にご芳名を刻み、末永く顕彰させていただきます。(ご希望の方のみ)

●感謝状の贈呈 ● 個人で10万円以上、法人で50万円以上のご寄附(累計額)を賜りました方につきましては、感謝状を贈呈させていただきます。

●記念品贈呈 ● 募集期間中、各年度内個人で3万円以上、法人で10万円以上のご寄附を賜りました方につきましては、御礼として、本学関連商品等を贈呈させていただきます。



寄附者銘板

1、名稱 「創基151年筑波大學50週年紀念基金」

2、目標金額 10億日幣

3、募集期間 2024年3月31日為止

4、支援内容 ●研究補助與人才培育「世界頂尖研究支援」

在廣泛的學術分野中，開展世界頂尖最先進的研究，一方面探求深入真理，另一方面也能將研究成果回饋社會，在最先進的研究與基礎的研究兩方面都能夠確實的推進。

●「國際交流與跨國人材的培育支援」

支援日本學生到國外留學、優秀的留學生到日本的經濟支援、提升學術研究水準與國際人材培育之支援。



5、捐款方式 (1) 匯款{銀行或郵局}

在匯款用單上填入必要事項後，就近到金融機關匯款。

(2) 線上付款

{信用卡付款、線上電子付費Pay-easy、便利商店付款}

到{筑波大學基金官網}上申請：

<http://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>



6、表彰

●捐款者芳名 ● 個人捐款10萬日幣以上或法人捐款50萬日幣以上(累計)，將在筑波大學大學會館的穿堂「筑波大學基金捐款者芳名錄」上刻上芳名以茲感謝。(有此意願者)

●感謝狀 ● 個人捐款10萬日幣以上或法人捐款50萬日幣以上(累計)，將賜贈感謝狀。

●紀念品 ● 募款期間，各年度個人捐款在3萬日幣以上或法人捐款10萬日幣以上，本校將贈與紀念品以茲感謝。

## 筑波大学開学50周年、創基151周年記念式典・祝賀会・イベントに参加して

文・台湾校友會會長 邱若山

2023年9月30日から10月1日にかけて、母校筑波大学では開学50周年、創基151周年記念式典・祝賀会のイベントが行われました。50周年という大きな節目を迎えたので、式典も祝賀会も大変盛大でした。

29日ホテル日航つくばに到着後、副会長、秘書長、台北事務所林秘書と合流して現在の台湾留学生会の役員たち、台湾大学医学部訪問団と付近の台湾料理屋百花亭で交流親睦会を行いました。

記念式典は9月30日昼過ぎにつくば国際場Leo Esakiメンホール会議センターで行われ、開式、学長式辞、来賓祝辞、来賓紹介、閉式のあと、白川英樹名誉教授（2000年ノーベル化学賞受賞）の記念

講演会「私の研究とつくば」がありました。自分の研究のプロセス、筑波大学の理想的な研究環境づくりに恵まれたことを述べられました。その後、卒業生インタビューがあて、式典終了。

祝賀会は17時30分からホテル日航つくば昴の間で行われました。現場参加+オンライン参加の各国OBと学長のトークショーの時間がアレンジされていて、僅かの2分間ほどしか話せなかったが、30数

台湾留学生会の役員たち、台湾大学医学部訪問団と付近の台湾料理屋百花亭で交流親睦会

台湾留學生會的幹部及台大醫學院訪問團在筑波的台灣料理餐廳「百香亭」聚餐



## 參加「筑波大學設校50周年、創基151周年記念式典・祝賀會」記實

文・台灣校友會會長 邱若山

去年9月30日到10月1日，欣逢母校筑波大學開校50周年，原東京高等師範奠基151周年的紀念典禮以及祝賀會等校慶活動，本人能以筑波大學台灣校友會會長身分應邀參加，感到無限的榮幸。50周年是一個大日子，因此，紀念儀式、慶祝典禮非常盛大且十分隆重。

29日抵達筑波日航大飯店（以前的第一、大倉）之後和和副會長、秘書長、台灣事務所林秘書等與在校台灣留學生會幹部、台大醫學院訪問團在附近的台灣料理店百香亭餐敘。

記念式典於30日下午在筑波國際會議中心舉行，日本政府文部省、多國駐日大使到場祝賀，我國謝長廷大使致贈祝賀花架，放在入口醒目之處。式典為一整個下午，會場滿座。式典特別紀念演講會邀請白川英樹名譽教授（2000年諾貝爾化學獎得主）演講，講題為「私の研究とつくば」，白川教授指出筑波大學提供了他最完善的研究機制與環境。

晚上為祝賀會，在日航大飯店的〈昴の間〉舉行。大會安排前往參加祝賀的各國校友會代表現場與線上致詞，我現場登台，不過時間只有2~3分鐘，非常短。我除了表示30多年前在人生的最重要階段能在筑波大學經歷留學生活，是最大的幸福，一生以身為筑波校友為榮。之後移到〈夕映えの間〉，由副校長主持，砂川有



創基151年筑波大學開學50周年記念式典會場にて  
(左から)郭副會長ご夫婦、本人、余秘書長

奠基151年筑波大學設校50周年紀念典禮會場留影  
(左起)郭副會長賢伉儷、本人、余秘書長

里子名譽教授和各國代表現場+線上交談介紹各國的日語教育現況。

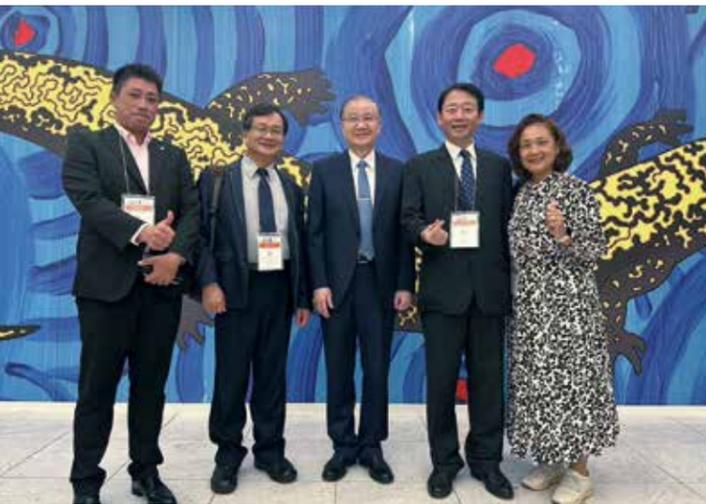
10月1日在大學會館有很多活動。我參加了「学長を囲む会」〈和校長一起〉的演講會，由永田校長演講筑波大學目前的定位以及在日本全國、世界大學的位置，發展的計畫與藍圖。永田校長是個創造未來（CREATE THE FUTURE）的人，學校的發展期程從構想未來（IMAGINE THE FUTURE）進入共創未來（DESIGN THE FUTURE, TOGETHER）與區域發展、產業發展、科研緊密結合。



祝賀会で同窓会代表として挨拶  
祝賀會上以校友會代表致詞  
砂川有里子名誉教授 撮影  
砂川有里子名誉教授 撮影

年前、自分の人生の一番大事な時期に筑波大学留学できたことの幸せ、そして筑波出身を最大の誇りとするなど語りました。そのあと、夕映えの間に移り、副学長の司会で砂川有里子名誉教授を中心に、現場+オンラインで各国代表が自国の日本語教育事情を語り合いました。

10月1日にキャンパスでたくさんのイ



台湾大学前学長楊泮池と  
與台大前校長楊泮池合影

ベントがありました。第58回の「学長を囲む会」がとり行われました。永田学長は「教育」「研究」「産学連携」の3つを基盤として、これからの50年 [NEXT50] で筑波大学が目指す姿をテーマに講演をなさいました。筑波大学の日本における位置、世界的ランキングなどに触れながら「IMAGINE THE FUTURE」から「DESIGN THE FUTURE, TOGETHER」(ともに拓く未来)の 이슈を詳述した永田学長のCREATE THE FUTURE (未来を構築)する姿勢がよく理解できました。

午後は筑波大学世界各国校友会連合会 (TUAN) の会長選挙があり、タイの会長が当選しました。学生のイベントとして出店した台湾留学生のコーナーに行き、後輩たちと交流し楽しい一時を過ごしました。また、体芸学群から人文社会棟、図書館前まで歩き、キャンパスを巡礼しました。

夜の懇親会の前に永田学長、金保副学長並びに多人数の学内の関係者方が台湾校友会の我々一行のためにわざわざ会談する時間を作ってくださいました。感謝の限りです。懇親会で昔の留学生事務を担当した関瑞穂さんと再会できたなど、大勢の方と歓談しました。林佳瑤秘書は台湾事務所の近況を紹介しました。

10月2日、私は所用で一足先に台湾帰国の出発をしました。副会長、秘書長、林佳瑤さんは大学関係事務室を訪問し、野球観戦などの交流活動をしました。帰国してから三回目の筑波帰省は思い出の尽きない、収穫いっぱいの幸せな旅でした。

下午參加了世界各國校友會聯合會 (TUAN) の會長選舉投票，由泰國的會長擔任。各種活動攤位非常的多，我去參觀了台灣同學會的攤位，也和在學的學弟妹有很好的互動。從藝術學群走到人文社會棟圖書館前，沉浸在校園的回憶中。

晩間〈懇親會〉之前，永田校長、金保副校長以及校內行政高層，特別撥出時間和台灣校友會到訪的成員懇談，可見對台灣校友會的重視與關照。懇親餐會時，和留學時期負責留學生業務的関瑞穂先生重逢，也和很多人歡談交流，林佳瑤秘書也登場介紹了筑波台灣事務所的概況。

10月2日我因行程的安排，一早就出發前往機場。林秘書與副會長、秘書長則拜訪了學校相關處室以及棒球觀戰等聯誼活動。

離開筑波返台之後，雖也回去過兩



野球観戦・体育系を訪問  
(左から) 林秘書、OBの寺脇さん、川村先生、郭副会長、余秘書長、郭副会長夫人  
棒球観戦・拜會體育系  
(左起) 林秘書、寺脇校友、川村老師、郭副會長、余秘書長、郭副會長夫人

次，但這一次為參加50周年校慶而歸省，看著蓬勃發展的母校，徜徉在懷念的校園中，感覺人生最幸福的一刻。



台湾校友会との懇談会  
(左から) 福重台湾オフィス所長、池田副学長、金保副学長、永田学長、本人、郭副会長、余秘書長、林秘書  
台湾校友会成員懇談會  
(左起) 福重台灣辦事處處長、池田副校長、金保副校長、永田校長、本人、郭副會長、余秘書長、林秘書

## 「蔡茂豐教授と台湾日本語教育」記念 国際シンポジウムにて——永田恭介学長がご挨拶を

我々の筑波大学校友会の大先輩、東吳大学外国語学院名誉院長の蔡茂豐教授のご逝去二年後に、2023年10月7日台湾東吳大学にて「蔡茂豐教授と台湾日本語教育」及び東吳大学外国語文學院創立40周年記念国際シンポジウムが行われました。東吳大学外国語学院、日本語文学科、筑波大学台湾校友会共催のシンポジウムでした。開幕式に永田学長は録画によるご挨拶をなさいました。

こんにちは。筑波大学長の永田です。

この度は「蔡茂豐教授と台湾日本語教育」及び東吳大学外国語文學院創立40周年記念国際シンポジウムの開催、大変おめでとうございます。

シンポジウム開催の趣旨はよく理解しています。私自身2016年に蔡茂豐先生と対談をさせていただきました。その際に、先生が筑波大学の前身である東京教育大学の修士課程で台湾にゆかりのある馬淵先生と出会われて運命的に国語と文学を学ばれたとのことでした。その後、先生はご帰国されて日本語教育のパイオニアとしてご活躍され、多くの学生を育てるとともに、東吳大学日本語学科主任を担当されたり、同大学において修士課程を設置されたりなど、台湾の日本語教育界の発展に多大なるご貢献をされてきたと承知しています。

対談の中では蔡先生が独自に語族別日本語教育という新しい教育法を提唱されるに至った背景をお聞きしました。そして蔡先生の教育者としての心構えも伺うことができました。教育者としての私へのアドバイスも頂き

ました。五経の教師でなく、人間としてどうあるべきかということまでを含めての教育であるというお言葉をいただいたことを今でも鮮明に思い出することができます。

本シンポジウムを通じて先生のご功績に改めて光が当たることをお喜び申し上げるとともに、その遺志を継がれている皆様のますますのご活躍と新たに遺志を継がれる研究者や教育者が誕生されますことを祈念して、お祝いの言葉に代えさせていただきます。本日は大変におめでとうございます。

同シンポジウムでは、基調講演3、研究発表13、プレゼンテーション1、パネルディスカッション1が行われました。蔡茂豐先生の教え子で、筑波大学校友会の会員から、頼錦雀（東吳大学特聘教授）は基調講演「蔡茂豐教授の日本語教育理念—講演録、対談と遺稿から考える—」を担当し、東吳大学機関リポジトリ：蔡茂豐教授文庫特設サイト公開のプレゼンテーションの座長を務めました。邱若山（静宜大学・東吳大学非常勤教授）は「蔡茂豐編著になる日本語教科書の世界—その理念実践及び成果—」を発表し、韓国慶熙大学校康永富元教授の基調講演の座長を務め、「蔡茂豐教授と台湾日本語教育」パネルに参加し、筑波大学台湾校友会会長として閉幕の辞を述べた。他に、李偉煌（静宜大学）、潘心瑩（世新大学）、吳佩珍（政治大学）の諸氏はコメンテーターを、于乃明（政治大学兼任教授）、蘇文郎（台湾芸術大学兼任教授）はパネラーを務めました。蔡茂豐先生に対する尽きない思念と敬意を表した。

## 「蔡茂豐教授與台灣日語教育」 國際學術研討會——永田恭介校長致詞

我們筑波大學的大前輩、東吳大學外國語學院名譽院長蔡茂豐教授逝世二週年，東吳大學外國語學院、日本語文學系以及筑波大學台灣校友會於2023年10月7日在東吳大學共同主辦了[「蔡茂豐教授與台灣日語教育」季東吳大學外國語學院設立40週年紀念國際學術研討會]，母校筑波大學永田恭介校長於開幕式錄影致詞。

大家好。我是筑波大學校長永田恭介。

今天「〈蔡茂豐教授與台灣日語教育〉暨東吳大學外國語學院設立40週年紀念國際學術研討會」盛大舉行，可喜可賀。

我充分地了解研討會舉辦的重要意義。我個人在2016年有幸和蔡茂豐教授對談。談到當時他進入筑波大學前身的東京教育大學碩士課程，遇到與台灣有相當因緣的馬淵和夫教授，決定了他專攻日本語學、文學的方向。我知道，蔡老師於回國之後，活躍於台灣日語教育界，成為台灣日語教育的開拓者，培養了非常多的學生，擔任東吳大學日文系主任，設立碩博士班等，對台灣的日語教育界的發展做出了偉大的貢獻。

在對談中，蔡老師為我說明了他提倡「語族別日語教育」的新的教育方法的理念背景。我聆聽了蔡老師對身為教育者的想法與看法。讓同為教育者的我受教良多。蔡老師所說的：為經師，更要為仁師的話語，我至今銘記在心。

我欣喜這一次的學術研討會，能夠更彰顯蔡老師的功績的同時，更殷望承續蔡



老師遺志的各位更加活躍於台灣日語教育界，以及繼承其遺志的新世代的研究者、教育者的出現。以上謹作為我的賀詞，今天真的是可喜可賀，大大恭喜。

本次研討會有3場基調演講、13篇論文發表、一場座談會。蔡茂豐老師的學生、筑波大學台灣校友會會員當中，賴錦雀（東吳大學特聘教授）擔任一場基調演講：「蔡茂豐教授的日本語教育理念—講演録、対談と遺稿から考える—」，以及東吳大學圖書館典藏資料庫蔡茂豐文庫網站介紹場次的主持人。邱若山（靜宜大學・東吳大學兼任教授）發表論文「蔡茂豐編著になる日本語教科書の世界—その理念実践及び成果—」，並擔任韓國慶熙大學康永富名譽教授演講場次的主持人，以及以筑波大學台灣校友會會長身分致閉幕辭。其他有李偉煌（靜宜大學）、潘心瑩（世新大學）、吳佩珍（政治大學）擔任講評人，于乃明（政治大學兼任教授）、蘇文郎（台灣藝術大學兼任教授）但任座談會與談人，對蔡茂豐老師表達無限的思念與敬意。（文・譯：邱若山 靜宜大學・東吳大學日本語文學系／清華大學歷史研究所 兼任教授）



## 台湾若手カフェ

毎年恒例の、今回は7回目となる台湾若手カフェが、筑波大学の最も美しい宿舎エリアにあるグローバル・ビレッジにおいて2023年12月9日に開催されました。台湾若手カフェとは、筑波に縁があり台湾を愛する教員・卒業生・学生たちが集う1年に1回の貴重なイベントです。

筑波大学国際局と筑波大学台湾留学生会の主催によるこのイベントには、駐日経済文化代表処からのご協賛をいただいた他、筑波大学台湾校友会の林華章前会長が直接母校に赴き台湾校友会を代表して台湾留学生会に協賛金の贈呈と後輩たちへの励ましをくださいました。

午前の部は、劉承衛さん、王睿英さ

ん、趙耕穎さん、長田健宏さんの4名の在校生による研究発表でした。トップバッターは胡適の研究の劉承衛さんでした。林前会長は胡適という人物やその時代背景には自身の年代の人にとっては共感するものが極めて多いとコメントしました。続く王睿英さんの「共食」エージェントの研究発表からは、将来の高齢化社会におけるニーズについての問題提起となりました。三人目の趙耕穎さんは、萬華や渋谷区等の都市美学の構築と台日比較等の建築に関する研究でした。トリを務めたのは長田健宏さんの研究は、半導体製造過程についてです。皆さんの深いながらもわかりやすいご発表のおかげで、門外漢の私たちも

## 台湾年輕人座談會

承襲往年，今年我們也在2023年12月9日，於筑波大學最美的宿舍區Global Village舉辦了第七屆的台灣年輕人座談會，一年一度難得的機會，以凝聚與筑波有緣、熱愛台灣的師長校友同學。

此次活動還是由筑波大學國際局與筑波大學台灣留學生會所主辦，除了感謝駐日經濟文化代表處對此活動的撥款贊助，也特別要感謝筑波大學台灣校友會的林華章前會長，他親自回到母校來參加，並代表台灣校友會，致贈贊助金予台灣留學生會，表達對學弟妹最深切的暖心鼓勵。

早上的場次是由在校同學進行研究報告，分別是劉承衛、王睿英、趙耕穎、長田健宏四位同學。首位劉承衛開場，分享胡適相關的研究。林前會長特別提到，胡適此人物與其時代背景，對他的年代的聽眾來說，極有共鳴。接著王睿英分享「共食」的虛擬機器人研究，也激發我們思考未來高齡化的



社會的需求。第三位講者趙耕穎的研究與建築相關，他提到萬華、渋谷區…城市美學的建立、台日比較等等。壓軸的是長田健宏同學的半導體製程研究，他們都用深入淺出的方式，讓非專業的我們都略能理解，並感受到他們對研究的熱忱。

下午的場次由已畢業的校友進行求職與就業相關的分享，今年特別邀請到臺灣大學國家發展研究所的李宥靈老師，他的講題是「多元的思想研究——跨領域和跨文化的歷程」。在李宥靈老師的生命歷程







## 台湾大学 ラグビーチームとの国際交流

2023年7月19日、台湾大学ラグビーチームが威風堂々と筑波大学に到着し、2日に亘る夏季ラグビーチーム国際交流が行われました。

これは両校の国際事務処による初の大型学生スポーツ交流イベントで、大変光栄なことに台湾大学ラグビーチームをはるばる筑波大学にお招きすることができました。日本に到着するとすぐに筑波に向かうという緊密なスケジュールでしたが、台湾の学生は和風旅館に宿泊して日本の雰囲気を楽しむことができました。

トップクラスの体育学群でその名を馳せる筑波大学には当然のことながらトップレベルのラグビーチームがありますが、台湾大学には体育専門の学科があり

ません。しかし、そうした中でもラグビーチームは台湾大学の中で最も伝統のある大学チームです。このイベントでは学生たちはラグビーへの情熱によって台湾と日本の言葉の壁を乗り越え、合同練習、トレーニングの見学、ディスカッション、交流試合を行うことができました。夏空の下、学生たちの爽やかな笑顔が広がり、数々の思い出深い写真を取りながら来年の再びの交流を約束しました。

翌日はJAXA筑波宇宙センターを見学しました。その後は、筑波大学台湾留学生会の学生の協力によりキャンパスガイドと学食体験も実施されました。夜は永田学長も駆けつけて筑波大学構内で歓迎会が開催されました。



## 臺灣大學 橄欖球隊國際交流

2023年の7月19日為期二天，臺灣大學的橄欖球隊浩浩蕩蕩抵達筑波大學，進行為兩校的學生暑期國際交流活動。

此次交流活動是在兩校國際處第一次促成的大型學生體育國際交流活動。非常榮幸能邀請到臺灣大學的橄欖球隊，遠道而來至筑波大學移地訓練。行程安排得非常緊湊充實，班機一降落日本，臺灣大學的橄欖球隊全員就直奔筑波，我們特別安排了台灣的學生住宿日式旅館，體驗日本風格的合宿。

筑波大學以頂尖的體育系聞名，想當然爾，也擁有一支超強的橄欖球隊，然而臺灣大學雖然沒有體育本科系的學生，但是橄欖球隊也是臺灣大學最具有傳承精神的校隊。在這次的活動中，學生們對橄欖球的熱愛，就能打破台日語言的隔閡。兩校一同練球、觀摩訓練、交流討論，並進行了難得的友誼賽。夏日晴空，映照著橄



欖球隊同學們爽朗的笑容，留下了多張精采的照片，也約定好明年要繼續這項有意義的活動。

隔日安排參觀JAXA筑波宇宙中心，並由筑波大學台灣留學生會的同學協助校園導覽、食堂體驗，晚間在筑波校園內舉行歡迎晚會，永田校長也特地到場支持，給予我們肯定與鼓勵。



## 少年野球の国際交流活動を開催

コロナも落ち着き、少年野球の国際交流も徐々に再開し始めています。8月のお盆休みにOBの余書農（2006年体育専門学群卒）が自身の経営する野球アカデミーの少年野球チームを引率して、日本で合宿を行いました。

日本訪問の初日は母校の筑波大学硬式野球部にお越し、野球教室を開いていただきました。筑波大学硬式野球部は国立大学でありながら野球の領域において非常に優秀な実績があり、日本のスポーツサイエンス界の最先端を走っています。そうした中でも、日本野球の古き良きところを忘れずに人間教育も重んじています。そんな野球教室では、測定機械のラプソートを始め、栄養の講義、体の使い方、怪我の予防等の野球選手には欠かせない様々な知識のレクチャーもしていただきました。

最後は、余コーチが筑波大学硬式野球

部の後輩に審判をお願いして紅白戦も行いました。子供たちにとって非常に収穫が多い合宿となり、終了する頃には大学生のお兄さん方とも打ち解けた様子で、言葉の壁など全く感じませんでした。野球教室の最後には、硬式野球部から少年野球の選手一人一人に筑波大学硬式野球部のベースボールTシャツを贈呈していただきました。

8月12日と8月13日はさくら運動公園で、つくば市の谷田部南小学校・谷田部ジュニアスターズ・吾妻少年野球クラブと交流および試合を行いました。8月13日の夜は、筑波大学御用達の「割烹一の矢」で国際交流懇親パーティーが開かれました。多くの子供たちには初めての海外経験がつくばという場所での野球になりましたが、非常に素晴らしい思い出になったと思います。



## 少棒小選手移地訓練

全球疫情趨緩，少棒移地訓練風潮再起，趁著8月中元普渡假期，本校校友余書農（2006年體育專門學群畢業）率領自己經營的訓練中心旗下的少棒盛樂地台南犀牛隊的小選手們前往日本進行移地訓練。

在開啟台日棒球交流的第一天的棒球行程就來到母校筑波大學，請到「筑波大學硬式野球部」來給犀牛隊的小選手們一整天紮實的棒球教室。筑波大學不只是日本非常優異的大學，其棒球隊「筑波大學硬式野球部」雖藉著國立大學體育系雄厚的資源走在運動科學的尖端，但又不失傳統日本野球該有的精神態度！在這樣新舊衝擊下，為犀牛隊的小選手們開設的棒球教室，內容除了棒球技術的指導以外，還有rapsodo測速、營養講座、身體運用、傷害防護等等，都是身

為棒球選手必須要學會的知識。

最後由余教練請筑波大學的學弟們當裁判進行分組比賽，小選手們都覺得收穫滿滿。最後小選手都跟大哥哥們打成一片，完全沒有語言的隔閡…整天交流活動結束後還送一人一件「筑波大學硬式野球部」的T恤！

8月12日及13日，犀牛隊的小選手們在筑波市谷田部南小學校和櫻花運動公園與「谷田部ジュニアスターズ」及「吾妻少年野球クラブ」，進行一系列的交流訓練和比賽，8月13日也在筑波大學聚會御用的「割烹一の矢」舉行了國際交流晚宴！

這次的活動讓犀牛隊的小選手們在筑波大學、筑波市都留下第一次出國打球的快樂的回憶。



## 「母の台湾」から「ぼくの台湾」へ

文 ● 松金公正（歴史・人類学研究科 宇都宮大学副学長）

冒頭に掲げた写真は、2023年の夏、学生15人を連れて3週間の台湾研修を行った時のものである。宇都宮大学着任後、2002年から始めた研修は、途中サーズやコロナによる中止を挟みながらも12回、のべ150人近い学生さんたちと台湾を訪れることになった。台湾の皆さんに面倒をおかけしつつも得難い経験をさせていただいている。本稿では、どうしてこのような研修を実施することになったのか、自らの台湾経験について5つの転機とともに述べさせていただきたい。

台湾とのかかわりを思い返してみると、一番最初に思い出すのは、小学校5年生の時に担任から小さな声で言われた「松金くんのお母さんは台湾の人なの？」という言葉である。提出した書類の母の出生地欄に「台湾」と書いてあったため、当時20代の先生はよくわからずこのような発言になったのかもしれない。母が所謂「湾生」という存在であることをぼくが理解するのはかなり後のことになるが、そんなことにかかわらず、我が家に「台湾」は溢れていた。台所には母が「リーきゃむ」と呼ぶ蜜餞（梅の砂糖漬け）やビーフンが置かれ、何かあると外食は中華料理屋へ。正月になると、エアメールで真っ赤なカードが送られてくるし、飛行機が大嫌いな母が「同窓会」と言って、愉しそうに台湾へ向かうことがあった。このようにとても身近な台湾であったが、ぼくは訪れる機会はなく、そ

れどころか台湾に背を向けて福岡から新幹線に乗り、筑波大学に行くことになった。ぼくにとっての台湾は、ずっと「母の台湾」であった。

大学では人文学類東洋史に所属し、3年生の時、1か月間北京へ。翌年少し長く行くこうと思っていたら、六四（天安門事件）のため行けず、魏晉南北朝仏教史をテーマに卒業論文を書き、大学院博士課程歴史・人類学研究科へ進学した。先輩や後輩が次々と留学に行く一方、外国語が苦手なぼくは全く海外とは無縁であった。

大学院5年目の夏、最初の転機が訪れる。筑波の同窓生である于乃明先生が台湾から連れてきた国立政治大学の学部生たちのお世話係を命ぜられたのである。就職先の見当が付き、大学院を去ろうとしていたぼくだったが、彼らとの交流の中で留学もいかなんかと思うようになり、1年だけ国立台湾師範大学国語教学中心で「国語」を勉強することにした。台湾だと母も賛成したし、なによりも台湾での宗教調査経験が豊富な丸山宏先生に背中を押していただいた。もちろん、当時は今とはちがって台湾への留学は一般的にはあまり歓迎されておらず、ある研究者から「台湾に行くということがどういう意味か分かっているのか」と言われたこともあった。しかし、指導教員の大藪正哉先生、そして野口鐵郎先生や片岡一忠先生も、気にすることはないと行くことを認めていただいた。

## 從「母親的台灣」到「我的台灣」

文 ● 松金公正（歴史・人類学研究科 宇都宮大学副学長）

本文開頭揭示の写真は本人於2023年帶領15名學生於台灣為期三週研修時所拍攝。就職宇都宮大學後，從2002年開始的台灣研修活動，期間雖然歷經非典型肺炎，和新冠肺炎一度中止，但前後12次研修活動，研修生總計150人次之多。本文針對此研修活動的始末，以及個人台灣經驗的5次轉機歸整敘述如後。

回溯和台灣的情牽，初始於小五時，班導師小聲問我：「松金媽媽是台灣人？」。因為我交出的個人資料中，母親出生地欄填的是「台灣」。我想當時20幾歲的老師可能不了解狀況才有此問。其實對於母親是所謂的「灣生」，我也是長大後方才理解。儘管如此，我家處處洋溢「台灣」味。廚房一定有「蜜餞」（糖漬酸梅），米粉之類的東西，有需要外食時，也必定是中華料理。新年時，會收到航空郵寄的紅色賀年卡，甚至厭惡坐飛機的媽媽也會因為開「同學會」愉快地飛向台灣。然而如此近在咫尺的台灣，我卻沒有機會造訪，反倒是背道而馳從福岡搭新幹線去到了筑波大學。當時對我來說「台灣」只是「媽媽的台灣」。

在筑波大學我是人文學類東洋史專攻，在3年級時曾經赴北京1個月。翌年原計畫多待一些時間，沒想到發生六四天安門事件無法成行，畢業論文以魏晉南北朝佛教史為題，進而進入研究所博士班「歷史・人類學研究科」。前輩和後輩紛紛出國留學，而我這個不擅長外語的人卻與留學毫無緣分。

就在研究所第5年的夏天，我遇到了第



国立台湾師範大学の前にジャンプする宇大生とNTNU生

宇大與師大學生在師大前跳躍

一次的人生轉機。我的筑波同學于乃明老師率領國立政治大學學部學生來日，我銜命負責招待照顧這些同學們。其實我是已經準備就業正要離開筑波的，然而和這些同學們交流時心中湧起了留學的想法，遂決定赴國立台灣師範大學國語教學中心學習「國語」。

1年が過ぎようとしていた時、第2の転機が訪れた。ある日、大学の掲示板を見たルームメイトが「ソンチン（松金）、この人話が合うんじゃない？」と、国立故宮博物院の白適銘先生が言語交換相手を探しているという貼り紙を教えてくれた。連絡してみると、相手はすでに決まっていたが、仏教美術史研究の第一人者である中央研究院歴史語言研究所の顏娟英先生を紹介していただいた。顏先生の推薦と当時所長であった杜正勝先生のご理解もあり、訪問研究員にさせていただき、劇的に研究環境が整うことになった。そのため、目的を語学習得から調査研究に変更し、滞在延長を決意した。なんだかサーカスにテントの出口から入れてもらえたようで、白先生、顏先生、杜先生にはどんなに感謝しても足りない。そしてこのことが第3の転機に繋がることとなる。

研究環境は整ったが、研究を継続するためには研究費を獲得する必要があった。しかし魏晉南北朝仏教史で研究計画を書いてみるが、力不足で獲得には至らない。そんな折、経済学者の石田浩先生と筑波の先輩で中央研究院近代史研究所の洪秋芬先生が

ら「台湾のことやったら？」と指摘を受けた。中国古代史研究の先輩、渡邊義浩先生にもいろいろなお助言とご支援をいただいた。実際台湾仏教史の研究計画で申請すると、太平洋文化基金会、国家図書館漢学研究センター、財団法人交流協会と立て続けに研究費の獲得に至ることになった。戒嚴令下においてタブー視されていた台湾史研究が、政治の民主化の流れのなかで研究できるようになったという台湾社会全体の変化と強く関係していた。このことがきっかけとなり、中国の代替地という「ぼくの台湾」が溶解していくことになった。

研究費の受給期間を終え帰国していたぼくに第4の転機が訪れる。元瀋陽総領事で当時交流協会日台交流センター所長をされていた大和滋さんに専門調査員募集に誘われたのである。村山富市内閣による歴史共通認識を構築するという目途をもった平和友好交流計画により実施された歴史研究者交流のほか、地域振興、先住民族、教育交流、修学旅行推進等が主要業務であった。この時、やはり筑波出身で外交官をされていた郭仲熙氏のほか、黄輝慶氏、蘇啓誠氏、黄冠超氏、孫大川氏、林志興氏、

高阿香氏、林美氏、丘如華氏、片倉佳史氏など、通常はお会いできないような皆さんに親しくしていただいた。現在とはちがって、国家公務員上級職の訪台は難しく、日台の国立大学間での交流協定も推奨されず極めてまれ。修学旅行は中韓がメインで、地方自治体も中

媽媽也贊成我去台灣，最重要的是當時在台灣宗教調查經驗豐富的丸山宏老師，成為背後最有力的推手。當然，當時社會不同今日，赴台留學一般是不受歡迎的，甚至有研究學者問我：「你真的了解去台灣留學的意義？」。但也有老師們，例如我的指導教授大藪正哉老師、野口鐵郎老師、片岡一忠老師等，他們認為不需要在意這些，肯定我的台灣留學。

在1年即將過去的時候，我又逢第2次人生轉折。有一天看到布告欄訊息的室友告訴我：「松金，你很適合這事呢！」原來是國立故宮博物院的白適銘老師尋求語言交換學習的布告。可惜聯絡之後已經找到人了。不過介紹給我佛教美術史研究權威中央研究院歴史語言研究所的顏娟英老師。經由顏老師推薦加上時任所長杜正勝老師的認可，成為訪問研究員，戲劇性轉折帶給我更完備的研究環境。爰此，我的目標從學習語言一變為調查研究，遂決意延長停留時間。彷彿馬戲團帳篷出口成了我的入口。至此，心中充滿對於白老師、顏老師、杜老師的感激之情。這也促成了日後的第3次轉機。

有了好的研究環境，要持續下去還得要有研究經費。我試著寫了魏晉南北朝佛教史研究計畫，惜力有未逮沒能拿到經費。此時，經濟學者石田浩老師和筑波學姊中央研究院近代史研究所的洪秋芬老師建議我「何不研究台灣？」。研究中國古代史的學長渡邊義浩老師也惠我諸多建言和支援。我以台灣佛教史研究計畫再次申請，終於獲得太平洋文化基金會、國家圖書館漢學研究中心、財団法人交流協會等，連續不斷的研究經費。處於戒嚴令下的台灣，被視為禁忌的台灣史研究，在政治民主化洪流中得以實現的確和台灣社會全體變化有著強烈關係。這也



中央研究院歴史語言研究所  
中央研究院歴史語言研究所

成了一個契機，台灣取代了中國，「我的台灣」的意識於焉融為一體。

研究經費期間結束歸國後，又逢第4度轉機。前瀋陽總領事時任交流協會日台交流中心所長的大和滋先生邀我應徵專門調查員。這是來自日本政府村山富市内閣以建構歷史共同認知為目標的和平友好交流計畫，主要工作除了推行歷史研究學者交流之外，社區營造，原住民族，教育交流，推動參訪旅行等的業務。工作上遇到的人士，像筑波出身外交官郭仲熙先生，還有黃輝慶先生、蘇啓誠先生、黃冠超先生、孫大川先生、林志興先生、高阿香女士、林美女士、丘如華女士、片倉佳史先生等通常不易見到的重量級前輩對我親切有加。與現在不同，國家公務員高階職位的訪問台灣變得困難，日台之間的國立大學交流協定也不被推崇，極其罕見。學校的修學旅行主要以中國和韓國為主，地方政府也在考慮中國的因素而持消極態度。因此，最大的挑戰是讓更多的場合了解台灣。



台湾臨地研修を経験した卒業生たちと再び台北で  
再次與台灣當地研修畢業生在台北重逢

国を気にしながら消極的という状況であり、まずは多くの場面で台湾を知ってもらうことが一番の課題であった。

その後、2001年に宇都宮大学国際学部に着任という第5の転機を迎える。最初に依頼されたのは、台湾の大学との協定締結、そして冒頭にあげた短期留学プログラムの構築であった。国立台湾師範大学、国立政治大学、国立暨南国際大学と2年で3つの協定締結へとなんとか漕ぎつけた。また、多くの皆様にご協力いただき、今日まで継続して研修を実施することができた。みなさんのおかげでようやく新たな「ぼくの台湾」がおぼろげながら見えてきたと思う。

この30年間で日本人の台湾への認識は大きく変わったと感じている。よく台湾は日本に優しいと言われる。ただ「母の台湾」の時代、多くの日本人は台湾に興味を向けることすらなかった。しかし当時の人々は

其後、2001年隨著我任教宇都宮大學國際學部，也迎來了第5階段的轉機。一開始被交付的工作是和台灣的大學締結交流關係，本文冒頭所揭示的短期留學課程就是當時的規畫。短短2年先後達成了和國立台灣師範大學、國立政治大學、國立暨南國際大學等3所大學簽訂交流協定。受到許許多多人士的協助，所以才能持續研修活動至今。也因為遇到這些人士，終於稍稍能夠看到全新的「我的台灣」，儘管她還不是十分清晰。

近30年來，日本人對台灣的認識大幅改變。經常聽到台灣對日本非常友善。但在「母親的台灣」年代，很多日本人甚至對台灣不屑一顧。不過當時還是有很多人們在各個不同的立場和台灣緊密連結。因而如今才

それぞれの立場で台湾と日本をつないできた。そして今、観光、ビジネスから修学旅行、大学生の研修、留学、学术交流まで、日台間の交流は全面展開の様相を見せており、そのおかげでぼくも台湾と仕事をさせていただいている。

母は1929年に生まれて16歳まで台湾で暮らした。ぼくは1995年にはじめて台湾に来てかれこれ30年が経とうとしている。年数だけでいうとすでに2倍近い。しかし台湾に継続して住んだのは合わせて6年に満たない。そんなぼくに「母の台湾」を「ぼくの台湾」に書き換えることはできるのだろうか。許されないかもしれないし、難しいことはよくわかっている。しかし、ぼくに現在の研究テーマと研究する楽しさを与えてくれた台湾に何か恩返しをするため、これからも1ミリでも日台の交流を進める、そんな勇気をもち関わっていきたい。

能看到從觀光，商業到參訪旅行，大學生研修活動、留學、學術交流等台日之間全面性展開的交流樣貌。我個人也因此得以從事和台灣相關工作。

我的母親1929年出生，在台灣生活到16歲。我則是1995年第一次來到台灣，匆匆已過30載。單就年歲來看，已接近2倍之多。但是真正持續居住台灣合計不滿6年。如此的我，是否能把「母親的台灣」輕易轉變為「我的台灣」？我深知很困難，也許不被認同，可是懷著感恩之情，希望回報當年給予我研究題目，以及研究喜悅的台灣，今後，企盼抱持勇氣，盡自身綿薄之力推動日台之間交流。（譯：孫寅華 淡江大學日本語文學系 副教授）



## 「従前の種々のことは皆今の私となっている。収穫するには先ず蒔くことだ。」

文・劉承衛 (人文学学位プログラム 歴史・人類学サブプログラム 東洋史学領域)

この文はちょうど筑波大学政治学の博士課程の試験を控えた時期に書いていますので、雑な文章になっているかと思いますが、ご了承ください。私は2017年に日本に来て、半年間日本語学校で学んだ後、2018年4月に筑波大学の比較文化学類に入学しました。2022年からは修士課程で史学を専攻しました。私は本が読めるようになった時から歴史と政治と哲学と日本語に深い興味を持っていましたが、授業中はいつも教科書以外の本を読んでいたため、学校の成績はずっと理想的ではありませんでした。しかし今、日本に来て6年半になりますが、学びの道では完璧とは言えずとも、できる限りの努力をしてきました。

一人親家庭の一人っ子の私に、小はかけ麺の煮卵から大は子どもころから2人の日本人の家庭教師をつけるなど、母はいつも力の及ぶ限りの最高のものを与えてくれました。母からの物心両面の支援と2人の家庭教師の先生の熱心なご指導のおかげで、私の日本語能力はどんどん向上し、それに伴い日本への好奇心も強くなりました。高校1年生でN1に合格すると、私は日本への留学を決めました。そして家庭の経済状況を鑑み、台湾の大学入学試験は受けずに日本台湾交流協会の奨学金

の試験に専念することにしました。

私が筑波大学で学び研究しているのは中華民国史で、近代の中国から戦後台湾までの知識人に着目しています。私が筑波大学を選んだ理由は、この大学には歴史と伝統があり、蔵書も豊富でカリキュラムも幅広いということ、そして都市の喧騒から離れて学業に専念できる大学の環境にあります。

勉強と研究に加えて、日本の学生の台湾理解を促進できるように尽力しています。大学に入ってから、学生が自主的に開く勉強会やサークルで台湾の歴史、社会、政治について積極的に発表してきました。幸いなことに私は子どもころから熱心に日本語を勉強してきたので、日本人の学生たちとの討論や交流に支障はありません。交流というのは双方向のもので、私たち台湾人はここに来て日本のいろいろなことを学びますが、同様に、私たちも日本の学生たちに私たちの美しい故郷「台湾」について知ってもらいたいと思っています。

最後になりますが、この文のタイトルは私の大学の卒業論文と修士論文の研究対象である胡適先生の名言を引用したものです。この言葉を、異国の地で共に頑張る現在或いはこれからの筑波大学留学生に贈りたいと思います。



## 「種種従前，都成今我，要怎麼收穫，先那麼栽」

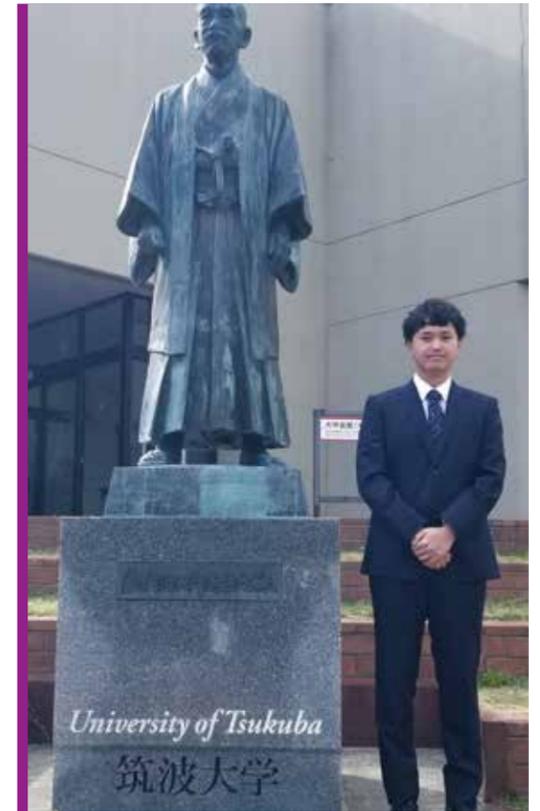
文・劉承衛 (人文学学位課程 歴史・人類学次課程 東洋史学領域)

寫這篇文章時本人為碩士二年級，正在準備報考筑波的政治學博士考試，寫得有點倉促，請見諒。我2017年9月就來到日本了，讀了半年的語校後，於2018年4月入學筑波大學的比較文化學類，爾後於2022年開始就讀本校史學碩士。從我會開始買書來看的那天起，我對歷史、政治、哲學以及日語就抱持濃厚的興趣，可因為我總是在課堂上讀課外書，各科考試成績也總是不甚理想。不過如今，我來日本已有六年半，在求學的路上，雖不能盡善盡美，但我總是竭盡所能。

作為單親家庭的獨生子，母親會盡可能地把她所能想到的最好的留給我，小到陽春麵裡的滷蛋，大到從小給我找的兩位日本人日語家教，多虧母親的奉獻以及這兩位家教的傾心教導，我的日語能力不斷進步，而我對日本的好奇心也隨之增長。當我在高中一年級取得N1之後，我便決定留學，同時鑒於家庭的經濟狀況，我選擇放棄準備學測與指考，專注在申請日台交流協會的獎學金。

我在筑波學習以及研究的是中華民國史，關注從近代中國到戰後台灣的知識份子，而我選擇筑波的原因在於本校歷史悠久、藏書豐富、課程的範圍廣泛，以及學校所處的環境一少了城市的喧囂，多了幾分能專注在學習上的清靜。

除了學習與研究，我也會想辦法促進日本學生對台灣的理解。從大學開始，我



修士課程の入学式  
碩士入學典禮

積極地在各個學生自主舉辦的學習會與社團進行有關台灣的歷史、社會、政治的發表。我很慶幸自己從小有認真學習日語，讓我與日本人學生們能毫無阻礙地進行討論與交流。畢竟交流是互相的，我們台灣的學生來到這學習有關日本的種種，同樣地，我們也能讓日本的學生們認識與了解到我們美麗的家鄉—台灣。

最後，關於此文章的標題，其實是引用了我學士與碩士論文的研究對象—胡適先生的名言，我也想把這句話送給目前以及即將在筑波留學的朋友們，在異國他鄉，我們一起努力。



## 語学学校から筑波大学社会工学へ

文・趙耕穎（社会工学学位プログラム）

日本に来て大学で学ぶことになる道のりは順調だったとはいえ、完全に順調というわけではありません。私は2019年に淡江大学建築学科を卒業しました。建築学科で学ぶ日々は、常に夜中の3時頃まで夜更かしをしたり、或いは徹夜をする生活を余儀なくされていました。模型の締め切りに追われながら夜を過ごす大学生活は、他の学生とは違いすぎて残念に思っていました。大学を卒業して2019年末に兵役を終えたところに2020年のコロナのパンデミックです。そこで、まず台湾で仕事に就き、夜は日本語の学校に通うことにしました。そしてコロナも収束に向かい始めた2022年7月に東京の日本語学校に入り、大学院の試験の勉強を始めたのです。

厳しい建築学科での勉強と仕事を経てから学校に戻ったおかげで、あの時の仕事は自分がやりたかったことだったのか？多様な能力を身につけて自分を成長させるためには更にどのような知識を身につけたらいいのか？と、自分の不足点と自分の望む方向を知ることができました。

私は大学時代は建築に加えて、大型の都市計画に触れることも好きでした。内部の空間に限定される建築よりも、都市計画は負うべき責任も大きく、都市計画の際に長期的な視点が欠けると数十万或いは百万人もの人々の生活に影響を与えてしまいます。このように策略を練り時に乗じて政策への提言をするのは、私が憧れる目標です。

ルネッサンス時期は建築士だけでしたが、都市の発展とともに建築士の仕事は建築の開発方式や道路のシステム、緑地公園、芸術的な景観等、人が生活する都市のデザインにも及ぶようになりました。それで、私は大学で建築を勉強した後は大学院で都市計画について学び、二つの専門を合わせて将来の仕事の最強の後ろ盾としたいと考えました。

筑波大学の社会工学は、社会と経済のモデル分析を行う「社会経済システム」、企業及び組織のマネジメントに関する「経営工学」、都市・建築・地域・まちづくり等に関するストラテジーやプロジェクトに関わる「都市計画」の3つの専攻に分かれています。筑波大学のこうした教育システムはとても理想的です。国外の現在の教育はだんだん学際的な方向に向かっており、自分の専門分野について研鑽を積むと同時に、異なる領域の人と交流・コミュニケーション・コラボレーションを通して、自分の専門の価値が最大限に発揮できます。これは他の大学では現在まだ行われていない教育システムで、大変魅力を感じました。私は大学時代から筑波大学で社会工学を学んだわけではなく、経済学の分析は私にとっては確かに難解ではありましたが、他の専門の学生と一緒に授業のレポートに取り組み異なる角度から問題について分析したり意見を述べたりする機会もあって、大変収穫が多く視野も広がりました。



## 淺談從語言學校到選擇並就讀筑波大學的社會工學

文・趙耕穎（社會工學學位課程）

來日本念書的路上順遂但也不完全順遂，我於2019年畢業於淡江大學建築系，在建築系的生活時常必須熬夜熬到半夜三點甚至通宵，度過這樣熬夜趕模型的大學生活讓我對大學的生活抱有遺憾，總覺得和其他人的大學生活差很多。畢業後在2019年底當完兵2020年疫情就爆發了，在疫情的情況下即使留學也只能視訊上課的情況下我選擇留在台灣工作直到疫情消退，那段期間每天白天上班晚上到日文補習班報到。努力通過日檢N2後並且在疫情相對消退的2022年7月來到東京念語言學校，並準備研究所的考試。

在唸完辛苦的建築系並工作過後，再回到學校我覺得是一件好事。這會讓我更加了解自己的不足以及人生想往哪個方向去，當時做的工作是我想要的嗎？或者我還要再學習甚麼知識讓自己的能力更加多元且進步。

我在大學時除了建築以外，更喜歡碰更大型的都市計畫。比起侷限於建築的設計和內部的空間感，都市計畫所必須負擔的責任更加重大，當一個城市的規畫缺乏遠見，影響的會是數十萬甚至百萬人的生活。在這種運籌帷幄並且時而能對政策提出前瞻和建議是我很嚮往的目標。在文藝復興時期只有建築師，但隨著城市開始發展，有部分建築師也開始著墨於設計人生活的都市，從建築的開發方式、道路系統、綠地公園、藝術景觀等。所以我一直希望大學讀完建築後能夠在研究所讀都市計畫，讓兩個專業合二為一成



2023年秋季スポーツ・デー（ソフトボール社会工学チーム）

2023年秋季的SPORT DAY(軟式棒球社會工學隊)

為將來工作的最強後盾。

筑波大學的社會工學有分社會與經濟模式分析的「社會經濟系統」專業、對企業及組織進行管理的「經營工學」專業以及對都市、建築、地域、社區營造等進行策略規劃的「都市計畫」專業三個領域。這是我一直覺得筑波大學在教育上做得最理想的地方。國外現在的教育慢慢走向跨領域學習，不只在自己的專業領域不斷鑽研，和不同領域的人交流、溝通、合作更是能將自己的專長所學發揮最大的價值。這是其他大學目前都沒有的教育模式，讓我非常嚮往。雖然我不是從大學時期即就讀於筑波大學的社會工學，經濟學分析對我來說確實很難理解，但某些課堂可以遇到其他專業的學生一起做報告並用不同視角分析問題提供建議，讓我受益良多且開眼界。



# 校友の近況 (敬称略)

恭賀  
おめでとうございます  
祝



校友  
**高木宏治** (たかぎ こうじ)  
恭賀就任  
ERA エナジー台湾  
台湾捷熱能源 高級顧問



校友  
**笹原 勉** (ささはら つとむ)  
恭賀就任  
日揮グローバル株式会社 台湾事務所長  
日商日揮股份有限公司 台湾分公司 總經理



校友  
**杜忠誥**  
書道家  
書法家

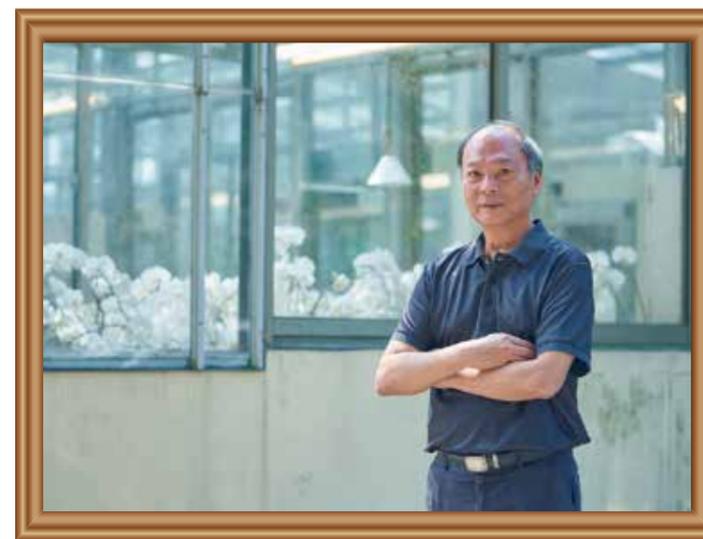
千山獨行 73x142 cm 2021  
鈴印 研農心畫 杜忠誥印 歇即菩提 復歸於樸

校友  
**蔡少軒**  
恭賀就任  
Taiwania Capital 投資マネージャー  
台杉投資 生技基金 投資經理

# 校友近況



校友  
**何承融**  
恭賀就任  
世新大学日本語文学系 兼任助理教授  
筑波大学のOBの新任自民党事務局長の井形厚一とツーショット  
世新大學日本語文學系 兼任助理教授  
與筑波大學校友新任自民黨事務局長 井形厚一合照



校友  
**黃裕益**  
恭賀榮退  
中興大学生物産業機電系教授退官  
中興大學生物産業機電系教授退休



校友  
**鐘翊綺**  
恭賀榮獲  
第 29 回版画 辰年特展 一等賞  
第 29 屆版印年畫 龍年年畫特展 首獎  
作品をぜひご覧ください ページ 29  
作品請見本刊 第 29 頁

校友  
**陳碧涵**  
恭賀就任  
台北市政府顧問 台北芸術センター取締役 桃園氏客家相談委員  
国立教育ラジオ放送局「與美感教育共舞」司会者  
臺北市政府市政顧問 臺北表演藝術中心董事 桃園市客家諮詢委員  
国立教育廣播電臺「與美感教育共舞」節目主持人

## 親睦會



筑波大学・台湾大学・ボルドー大学の三校共同学位プログラムに参加中の現役大学院生（筑波大学・台湾大学）と日本人の校友たちとの親睦会が台北市内の宜蘭料理店で開催されました。

2つの大テーブルに分かれての世代と国を越えた交流を通して、筑波大学の先進的なプログラムの話やそれぞれのお仕事や専門の勉強の話に花が咲きました。



5月に続き、筑波大学・台湾大学・ボルドー大学の三校共同学位プログラムに参加中の筑波大学と台湾大学の大学院生たちが間もなくフランスに旅立つのを前に、歓送会を兼ねた台湾人と日本人のOBOGの親睦会を台北市内のうなぎ料理店で行いました。



秋の部の親睦会は、オープンから1ヶ月の日本人が経営する台北市内の居酒屋で行われました。ちょうど台湾にご出張中の木島先生も飛び入り参加された他、駐在員として台湾に赴任して間もない新メンバーもお迎えしました。

それぞれの自己紹介や筑波での思い出話、専門や仕事の話で盛り上がり、掘りごたつ式の居心地のよさも加わって和気藹々とした雰囲気の中であっという間に時間が過ぎました。



## 北部親睦會



筑波大学・臺灣大學・波爾多大學國際三校聯合碩士學位學程的學生（筑波大學・臺灣大學）與駐台的日本校友們，在台北市的宜蘭料理餐廳舉行了親睦會。

熱熱鬧鬧分成二大桌的不同世代的校友，席間聊著筑波大學嶄新的學程、各位的職場與專業的話題，進行了跨世代與超國界的交流。



接續五月的親睦會，筑波大學・臺灣大學・波爾多大學國際三校聯合碩士學位學程的學生，將一同移動到法國繼續學程。在離台之前，熱情的駐台日本校友們，又為了這些研究生舉行了歡送會兼台灣人與日本校友們的親睦會，這次約在台北市的鰻魚料理店歡樂聚會。



這次的秋季的親睦會我們約在才剛開幕一個月，由日本人經營，位於台北市內的居酒屋內舉行。母校の木島教授正好來台灣出差，非常榮幸邀請到他來一同參加，也熱烈迎接才剛以駐在員身分赴台工作的新成員。

先輪流自我介紹之後，聊起在筑波的回憶、各自專業與工作上的話題，場面十分熱絡。日式暖桌坐起來非常舒服，快樂的時光總是過得特別快，校友們在溫暖的氣氛中共度了一段美好的晚餐時光。

## 筑波大学台湾オフィス便り

文 ● 福重瑞穂 (筑波大学台湾オフィス所長)

2023年度より、台湾オフィス所長を拝命いただきました福重瑞穂です。現在まで、台湾の大学とは主に共同研究を通して交流させていただいてきましたが、台湾オフィスの担当となり、大学全体で学生・研究交流が活発に実施されていることを実感しています。現地スタッフの林佳瑤さん、国際室の日比生さん、植木さんと協力して、台湾と本学の交流がさらに活発になるよう、これまでのオフィス所長である大庭先生、阿部先生から活動を引き継いで、継続して参ります。

2023年は本学の創基151年開学50周年という記念すべき年でした。2023年9月30日(土)に開催された記念式典には、台湾校友会の邱若山会長、郭威伯副会長ご夫妻、余書農秘書長にご参加いただきました。台湾からは、国立台湾大学、国立中央大学、国立成功大学、国立政治大学、台北医学大学、工業技術研究院日本オフィスの代表者もご参加くださり、盛況に終えることができました。さらに、記念式典翌日にはTsukuba Universal Alumni Network (TUAN) の代表選挙が実施され、国や地域を超えた筑波大学卒業生・修了生のネットワークが発足しました。台湾校友会とは違い、生まれたばかり

のTUANですが、同じ筑波大学の卒業生同士ですので、ご興味のある方はぜひTUANの活動へもご参加ください。

2023年には対面での学生交流も全面的に可能になり、筑波大学の学生が台湾を訪問する機会も多くなりました。本学は、2023年4月から2024年1月の期間に、142名の台湾の学生を受入れ、126名の筑波大学生が台湾を訪問しています。短期留学から帰国した大学院生と話してみたところ、とても生き生きしていました。やはり、関係教員や学生と直接やりとりをすること、実習以外でも食事や雑談を通して交流を深めることは、現地を訪問してこそだと改めて感じました。

筑波大学は羽田空港、成田空港からそれぞれ1~2時間程度の便利な距離に位置しています。海外渡航が再び容易になった今、さらに交流を深めていくことを期待し、台湾オフィスがその一助になれるよう、微力ではありますが尽力して参ります。台湾オフィスへのお問い合わせやご意見をいただける場合は、お気軽にご連絡ください。

最後になりましたが、これからの交友会のますますの発展を祈念しております。今後とも校友会の皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。🍇

台湾オフィスの活動は、以下のウェブサイトで紹介しています。

🌐 ホームページ: <http://www.global.tsukuba.ac.jp/overseas/taiwan>  
 📘 facebook: <https://www.facebook.com/ut.taiwan.office/>

## 筑波大学台湾辦事處

文 ● 福重瑞穂 (筑波大学台湾辦事處處長)



私は2023年度起、接受任命為台湾辦事處的處長的福重瑞穂。之前我與台灣之間的交流，都是與台灣的大學合作的共同研究為主，自從接任台灣辦事處之後，接辦了學生交流等多樣化的交流活動。我與現地職員林佳瑤小姐，以及國際室的日比生先生、植木小姐一同合作，承接前台灣辦事處的大庭老師及阿部老師開展的活動，繼續促進台灣與本校的合作交流更加活躍。

2023年是本校創校151週年及開校50週年的重要紀念年。在9月30日(六)舉辦的紀念典禮，我們很榮幸邀請到台灣校友會的邱若山會長、郭威伯副會長夫婦，以及余書農秘書長參加。台灣代表團還包括國立臺灣大學、國立中央大學、國立成功大學、國立政治大學、台北醫學大學、以及工業技術研究院日本辦事處的代表。這是本校時隔多年的大規模的實體會議及儀式，感謝台灣各方參與，得以圓滿結束。此外，2023年紀念儀式的隔日，本校舉行了Tsukuba Universal Alumni Network (TUAN) 代表選舉，揭開了筑波大學跨國界的聯合校友會組織的序幕。雖然TUAN是一個新生的組織，與台灣校友會有所不同，也請務必踴躍參加TUAN的活動。

2023年這一年面對面的學生交流活動也全面恢復。筑波大學的學生訪台的機會增加許多，從2023年4月到2024年1月間，本校接待了142名台灣學生，同年則有126名筑波大學的學生訪問了台灣。有幸與一位短期留學歸國的研究生談話之後，感受到了學生的活力滿滿。這也讓我再次深刻感受到，直接與教職員和學生互動，在實習以外也能一起吃飯聊天，都是唯有透過親臨現場親身體驗才能獲得的。

筑波大學的地理位置便利，距離羽田機場和成田機場都只需要1到2小時的交通時間，隨著國際旅行再次變得容易起來，期望未來我們可以繼續頻繁互訪，深化交流。同時，我會盡我微薄之力，讓台灣辦事處成為助力。如果您對台灣辦事處有任何問題或建議，請隨時與我們聯繫。

最後，祝福校友會未來持續成長及發展，請大家繼續給予校友會指導和支持。  
 (譯: 林佳瑤 筑波大學台灣辦事處) 🍇

台湾辦事處的各项活動，請見以下網站：

🌐 官網: <http://www.global.tsukuba.ac.jp/overseas/taiwan>  
 📘 臉書: <https://www.facebook.com/ut.taiwan.office/>

# 筑波大学台湾校友会規約

- 【名称】**  
第1条 本会は「筑波大学台湾校友会」と称する（英語名は University of Tsukuba Taiwan Alumni Association とし、UTTAA と通称する）。
- 【趣旨】**  
第2条 本会は、会員相互の親睦をはかり、日台両国の相互交流と友好発展に寄与することを趣旨とする。
- 【活動】**  
第3条 本会は、第2条の目的を達成するため、名簿作成、校友及び筑波大学との交流協力、親睦会、その他、会員が提案する活動などを行う。
- 【会員】**  
第4条 本会は、下記の該当者で構成する。  
(1) 筑波大学または前身となる大学の学群・大学院の卒業・修了者  
(2) 筑波大学に学位請求論文を提出し学位を認定された者  
(3) 一ヶ月以上筑波大学に在籍し学習・研究等を行った者  
(4) 一ヶ月以上筑波大学に滞在し教育・研究等に從事した者  
(5) 本会の入会希望者は、幹事会の定めるところにより入会の申し込みを必要とする。
- 【賛助会員】**  
第5条 本会の発展に多大な貢献のあった者及び本会の趣旨に賛同する者で、会長・副会長等が認める者は賛助会員となることできる。
- 【退会】**  
第6条 会員は個人の事情でいつでも退会できる。
- 【総会】**  
第7条  
(1) 総会はすべての会員をもって構成する。  
(2) 総会は次の事項について決議する。  
一 会員の除名  
一 会長、副会長の選任または解任  
一 会則の変更  
一 会計監査の承認  
(3) 総会は定時総会として年1回開催するほか、必要がある場合に開催する。  
(4) 総会は幹事会の決議に基づき会長が招集する。  
(5) 総会の議長は会長がこれに当たる。  
(6) 総会における議決権は、会員1名につき1票とする。  
(7) 総会の決議は総会出席者の議決権の過半数をもって行う。  
(8) 会員は代理人によってその議決権を行使することができる。  
(9) 総会への発議は幹事会を通しておこなう。  
(10) 総会の議事については、議事録を作成し、議長が署名押印する。
- 【役員】**  
第8条  
(1) 本会は役員として会長1名、副会長若干名、幹事長を置く。  
(2) 本会は名誉会長、名誉副会長及び顧問を置くことができる。  
(3) 会長、副会長は総会の決議によって選出する。  
(4) 顧問は幹事会によって選任する。  
(5) 名誉会長、名誉副会長は幹事会によって推薦され、総会の承認を持って選任する。  
(6) 会長は幹事会を組織し、本会の活動を管轄する。  
(7) 副会長は会長の職務を補佐し、会長が職務遂行し

- ねるときにその職務を代行する。  
(8) 会長、副会長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 【幹事会及び事務局】**  
第9条  
(1) 本会の運営のため幹事会を置く。  
(2) 幹事会の事務局を筑波大学台湾オフィスに置く。  
(3) 幹事会は、会長、副会長、事務局長、副事務局長若干名および事務局員、筑波大学台湾オフィス構成員より構成される。  
(4) 事務局長は、会長によって選任する。  
(5) 事務局長は、副事務局長、事務局員を選任する。  
(6) 幹事会は、次の活動を行う。  
一 本会の活動執行の決定  
一 本会の会計監査  
一 事業報告書の作成  
一 総会の開催  
一 会員名簿の管理  
一 筑波大学との連絡調整  
一 会員からの意見をとりまとめ、会則、附則変更などを総会へ発議する
- 【会費】**  
第10条 本会の会費は附則に定める。また、総会開催など実際の活動内容に合わせ、適宜徴収もしくは厚志を募るものとする。
- 【会計】**  
第11条  
(1) 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり12月31日に終わる。  
(2) 本会の会計は事務局にて管理し、幹事会はこれを監査し、総会の承認を得る。  
(3) 本会に納められた会費および寄付は税金控除の対象とはならない。
- 【除名】**  
第12条 会員が本会の目的に逸脱する行為又は本会の名誉を傷つける行為を行ったときは、幹事会の議決を経て、その資格を失う。幹事会は総会に報告する。
- 【会則の発効】**  
第13条 本規約は2016年2月20日に校友会設立式で可決され、2016年2月20日より発効する。
- 【規約改正】**  
第14条  
(1) この会則は総会の議決によって変更することができる。  
(2) 本規約の解釈権は幹事会に属する。
- 【附則の取扱い】**  
第15条  
(1) 本会則は会則に矛盾しない限りにおいて本会の運営のために附則を置くことができる。  
(2) 附則は総会の議決によって変更することができる。
- 附則**  
1 本会の最初の会長は林華章とする。  
2 本会の最初の副会長は潘進丁と邱若山とする。
- 附則**  
**【会費】**  
第1条  
(1) 本会の入会金を1000台湾ドルとし、入会時に一度支払うものとし、終身会員となる。

# 筑波大学台湾校友会章程

- 【名稱】**  
第一條 本會名稱爲“筑波大學台灣校友會”（英文名稱爲 University of Tsukuba Taiwan Alumni Association，英文縮寫爲 UTTAA）。
- 【宗旨】**  
第二條 本會之宗旨在於服務會員，增進會員之間的友誼，期能對台日兩國之間的國際交流有所貢獻。
- 【活動】**  
第三條 本會為達成第二條之目的，將致力於會員名冊的製作、校友間的以及與筑波大學之間的交流，舉辦聯誼會及會員提議之活動。
- 【會員】**  
第四條 本會會員由以下成員組成：  
(1) 在筑波大學或東京文理科學大學、東京教育大學、圖書館情報大學之大學部或研究所畢業者  
(2) 向筑波大學提交論文獲得學位者  
(3) 在筑波大學從事學習或研究一個月以上者  
(4) 在筑波大學從事教育或研究一個月以上者  
(5) 完成秘書處所訂之入會申請程序者。
- 【贊助會員】**  
第五條 對本會的發展做出重大貢獻及贊同本會宗旨者，經本會會長、副會長等會議後，可成爲本會贊助會員。
- 【退會】**  
第六條 會員可自主隨時退會。
- 【總會】**  
第七條  
(1) 總會由所有的會員所組成  
(2) 總會將決議以下事項：  
一 會員之除名  
一 會長、副會長的選任或解任  
一 會則之變更  
一 會計監查之承認  
(3) 總會定期一年召開一次，必要時可加開臨時會。  
(4) 總會以幹事會的決議爲基礎，由會長召集。  
(5) 總會的議長由會長擔任。  
(6) 總會的決議權，每位會員各一票。  
(7) 總會之決議須出席會員之半數以上同意始爲有效。  
(8) 會員的決議權行使可委託代理人。  
(9) 總會的新議題將透過幹事會提案。  
(10) 總會的議事將做成會議記錄，由議長簽名蓋章。
- 【幹部】**  
第八條  
(1) 本會的幹部將設置會長1名、副會長若干名、並設置秘書長。  
(2) 本會可設置名譽會長、名譽副會長以及顧問。  
(3) 會長、副會長由總會之決議選出。  
(4) 顧問由幹事會推薦聘任。  
(5) 名譽會長、名譽副會長由幹事會推薦，總會認可後任之。  
(6) 會長組織幹事會，並管理本會之所有活動。  
(7) 副會長協助會長執行會務，於會長無法出席時，代其職務。  
(8) 會長、副會長的任期二年，可連選連任。

- 【幹事會及秘書處】**  
第九條  
(1) 為維持本會的營運設置幹事會。  
(2) 幹事會之秘書處設置在筑波大學台灣辦事處。  
(3) 幹事會由會長、副會長、秘書長、副秘書長若干名、幹部及筑波大學台灣辦事處之成員所組成。  
(4) 秘書長由會長選任。  
(5) 副秘書長、幹部由秘書長選任。  
(6) 幹事會將執行以下之活動  
一 本會活動執行之決定  
一 本會之會計審查  
一 事業報告書之作成  
一 總會之召開  
一 會員名冊的管理  
一 與筑波大學之聯絡調整  
一 統整會員之意見，向總會提出章程及附則變更之提案

- 【會費】**  
第十條 本會之會費依附則所定。另外，配合召開總會等實際活動內容之需求，得收取費用或募捐。

- 【會計】**  
第十一條  
(1) 本會的會計年度，由每年的一月一日開始至十二月三十一日爲止。  
(2) 本會的會計將由秘書處管理、由幹事會監督、經總會認可後向所有會員公開。  
(3) 本會繳納之會費與捐款均無法提報列舉扣除稅額之用。

- 【開除】**  
第十二條 違背本會宗旨或損害本會聲譽之會員，經幹事會表決通過，提交總會議決，取消其會員資格。

- 【章程的生效】**  
第十三條 本章程於2016年2月20日校友會成立大會通過，自2016年2月20日起開始生效。

- 【章程修改】**  
第十四條  
(1) 本章程可依總會之決議而修改之。  
(2) 本章程之解釋權屬於幹事會。

- 【附則之運作】**  
第十五條  
(1) 在不與本會則相矛盾的情況下，可依本會的營運需求，設置附則。  
(2) 附則在總會決議後可變更。

- 附註**  
(1) 本會最初之會長，由林華章先生擔任。  
(2) 本會最初之副會長，由潘進丁及邱若山先生擔任。

- 附則**  
**【會費】**  
第一條  
(1) 本會入會費爲新台幣1000元，入會時一次支付，即可成爲終身會員。

## 編集後記

文 ● 筑波大学台湾校友会会長 邱若山 (1987-1992文芸言語研究科 静宜大学・東吳大学日本語文学系/清華大学歴史研究所 非常勤教授)

謹んで筑波大学台湾校友会誌第8号をお届けいたします。

昨年新型コロナ禍が収束し、日台間の行き来や交流が前より盛んになった。今年も年度大会で永田学長をはじめ母校の諸先生方のご臨席を迎えることが出来、欣喜の限りです。

去年の総会で林華韋前会長からバトンを受け継いだのですが、皆様の相変わらぬご支持を承りたくお願い申し上げます。

9月30日～10月1日に筑波大学開学50周年、創基151周年記念式典、祝賀会が盛大に行われました。それに幹事会数人が参列しました。拙文の記事をご覧ください。

10月7日に校友会と東吳大学外国学院が「蔡茂豊教授と台湾日本語教」国際シンポジウムを共催しました。永田学長の録画のご挨拶に感謝。

若手カフェで在校生からは劉承衛、王睿英、趙庚穎、長田健宏が研究発表をし、卒業生からは李宥霆、葉家慈、戴貽霏、陳文婷が日本での求職、仕事経験を分かち合いま

した。林華韋前会長が台湾から参加、金保副校長のご臨席が会場を盛り上げました。

余書農秘書長の尽力で筑波大、台湾大学のラグビーチームの交流、日台少年野球の交流が進められました。

松金公正先生の「〈母の台湾〉から〈僕の台湾〉へ」はご自身の人生、学問の各段階で台湾との深いご縁をしみじみ語るもので、多大の感銘を受けました。

劉承衛、趙耕穎両氏の留学生便りからその進路決定とキャンパス生活が分かりました。また、8人の校友の近況報告を掲げました。各地域の親睦会をこれからもっと回数を増やしたいものです。

大庭先生、そして阿部先生の後任として、福重瑞穂先生が筑波大学台湾オフィス所長になりました。校友会との更なる密接な連携を宜しくお願いいたします。

母校の発展基金の募集はまだ進行期間中です。奮ってのご寄付を呼び掛けると同時に、皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。



## 編輯後記

文 ● 筑波大學台灣校友會會長 邱若山 (1987-1992文芸言語研究科 靜宜大學・東吳大學日本語文学系/清華大學歷史研究所兼任教授)

會誌第8號編輯完成，謹此呈上。

去年新冠狀病毒解封，台日間往返交流更加頻繁。今年年會能迎接永田校長與母校更多位師長蒞臨，欣喜之至。

去年會長改選，由本人接棒林華韋會長的工作，懇請各位校友學長姊繼續大力支持。

9月30日～10月1日母校設校50周年暨奠基151周年校慶祝賀典禮盛大舉行，本人與副會長、秘書長、台灣辦事處林秘書均前往參加，詳情請看拙文記事。

10月7日校友會與東吳大學外語學院共同主辦[蔡茂豊教授與台灣日語教育]

## 筑波大學台灣校友會會刊 第八期

編輯 邱若山、孫寅華、服部美貴、林佳瑤

封面設計 曹融

發行人 邱若山

出版人 筑波大學台灣校友會

台北市大安區長興街81號2樓

02-3366-9313

出版日期 2024年3月2日

照片拍攝地點



写真の撮影地:筑波山

版權所有・翻印必究 Printed in Taiwan

廣告贊助校友：

思必瑞特生技 劉宇帆(體育系研究員 2010-2014; 2016-2019)

長築實業股份有限公司 薛承哲(系統情報工學電腦科學碩士2017年畢)

揚雅(統豪)國際股份有限公司 黃裕益(農林工學研究科博士1992年畢)

和友檢驗科技有限公司 莊坤遠(農林工學研究科博士2002年畢)

安永生物科技股份有限公司 郭威伯(理工情報生命學術院 生命地球科學研究群 農學學位學程 博士2021年畢)

筑波大学台湾校友会會費、寄付金のお振込みは、以下の口座にお願いします。

帳號：玉山銀行 大墩分行 0288979138615

戶名：莊坤遠

紀念國際研討會，感謝永田校長的錄影祝辭。

年輕人座談會，有在校生劉承衛、王睿英、趙庚穎、長田健宏的研究發表，畢業生李宥霆、葉家慈、戴貽霏、陳文婷的日本工作經驗分享。感謝林華韋前會長前往參加，金保副校長的蒞臨。

母校與台灣大學橄欖球隊以及台日少棒球隊展開交流，余書農秘書長推動體育交流活動有成。

松金公正學長的〈從「母親的台灣」〉到「我的台灣」〉細數他在人生、

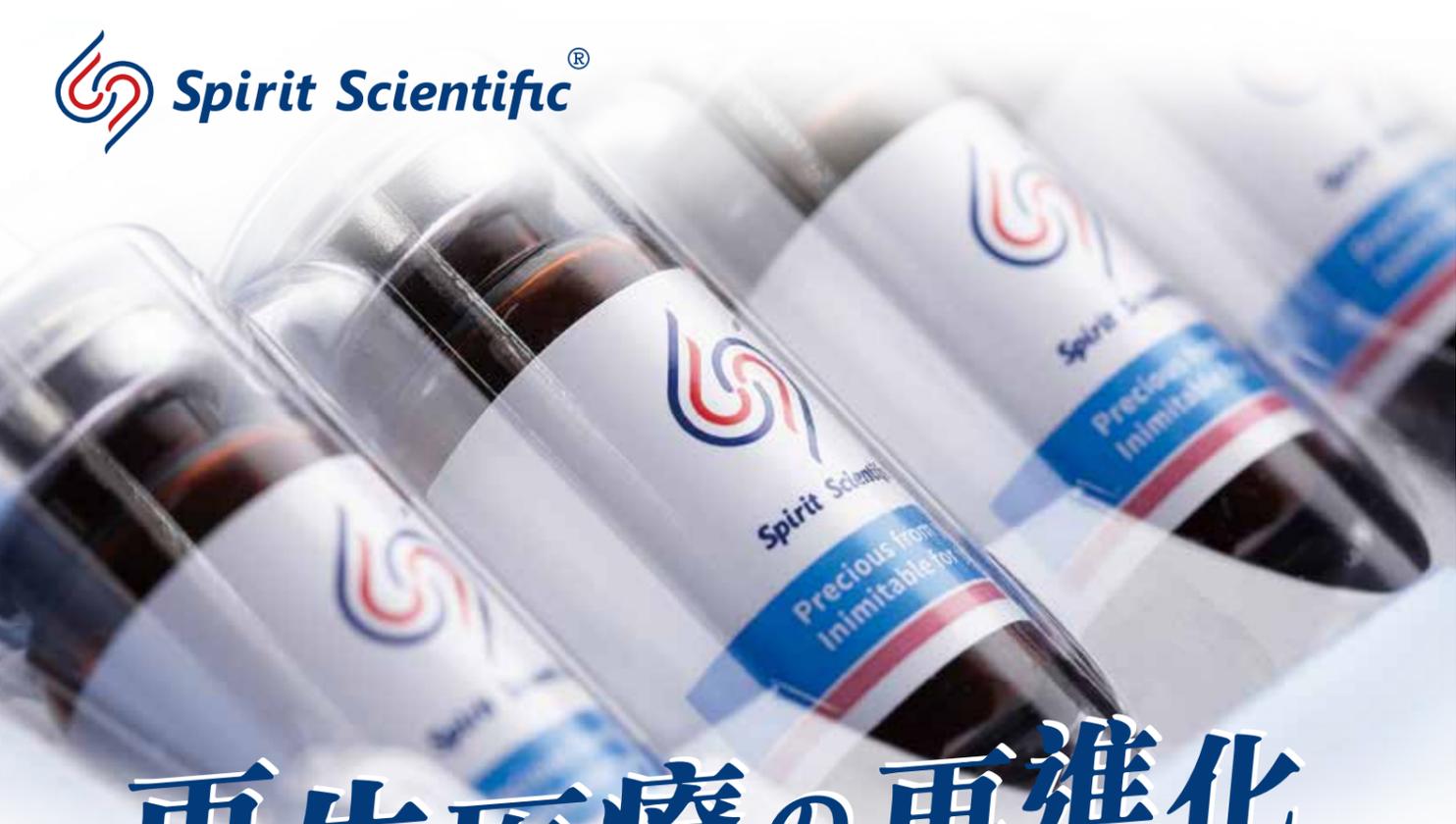
學問的各階段和台灣的深緣關係，令人感動。

劉承衛、趙耕穎兩位的留學生寄語記敘了他們多采的校園生活。本期報導了8位學長姊的近況，期待明年各區的親睦會能更熱絡。

福重瑞穂老師繼大庭老師及阿部老師之後接任筑波大學台灣辦事處處長，期待和我們校友會持續展開更密切的交流。

母校的發展基金募款仍在繼續中，希望獲得校友們的大力支持。新的年度裡，祝大家身體健康，萬事如意。





# 再生医療の再進化

全てこのバイアルに!

精準  
定量

Accurate

GTP級  
無塵實驗室

Safe

專業製程

安全純淨 · 定劑定量

個人化  
產品設計

Personalized

科學  
數值分析

Scientific

## 思必瑞特生技股份有限公司

以Bio-Foundry為核心概念的次世代生物科技服務  
提供客製化生物製造服務·精準·高品質的再生醫療技術

日本サービスの提供は2024年の第3四半期に開始予定です。



Spirit Scientific



Spirit Scientific  
Japan

塗裝設備的系統整合公司，致力於提供客戶最先進與高性價比的自動化設備  
代理世界知名品牌(YASKAWA 機器人, Sames、Graco、Carlisle Fluid Technologies、Asahi Sunac等塗裝設備)，亦投入自主產品研發，我們結合最新的設備並提供客戶客製化產線設計與全方位解決方案，引導客戶接軌工業4.0。

## 機器人塗裝



汽車-水性塗裝



自行車-粉末塗裝



縫紉機-粉末塗裝

## 傳統塗裝



手動靜電噴槍液體塗裝



升降機摩擦槍粉體塗裝



往復機靜電噴槍液體塗裝

## 新技術應用



木器研磨-力覺感知



保險桿-夾取移載



視覺辨識

總公司：新北市土城區忠承路83號9樓  
電話：886-2-2268 4088 台中公司：886-4-2358 8755 台南公司：886-6-270 9257

www.bfcoating.com.tw

中國：(北京、天津、昆山、上海、東莞、廈門)、越南、印尼、泰國、印度

# 資源整合。解決問題。創造價值。

Resource Integration. Solve the problem. Create value.



## AI 環控大數據

Artificial Intelligence, Big Data and Environment

## 智能化~ 整廠 規劃改建及興建諮詢

**Trend of micro profit. 微利時代**

**Waste reuse 廢棄物再生利用**

**Source management 源頭管理**

**綠色產業 環保、節能、減碳、減費**

**禽舍設計模組化** Composition of poultry houses

**溫網室環控系統** Ecosystem control in greenhouse

**土壤溼度偵測及小型氣象站** Soil moisture sensor

**百葉二段式入風口** Shutter inlet (two-stage type)

**智能環控數據** Environmental control system in poultry house

**食品級防疫消毒** Disinfection - Cooling (food-grade)

**大數據收集/分析** Big data analytics

**土雞禽舍升級** Poultry house upgrade

**智能化溫室~小番茄** Intelligent greenhouse (cherry tomato)

觀念對了~人對了~事就對了!  
Right thinking + Right people = Right thing

## 和友檢驗科技有限公司 中台科技大學環安衛分析實驗室



勞動部認可 符合 ISO 17025 國際規範



感應耦合電漿發射光譜儀 - 質譜儀



原子吸收光譜儀



微波消化器



液相層析串聯式質譜儀



六位數精密天平



### 服務項目：

- ✓ 作業環境監測(勞動部職業安全衛生署認可)
- ✓ 職業安全衛生教育訓練(台中市政府認可)
- ✓ 職業安全衛生管理與相關技術諮詢服務
- ✓ 作業環境改善控制工程評估與規劃設計
- ✓ 化學品、重金屬、粉塵濃度分析與測試
- ✓ 檢知管直讀測定、閃火點測試
- ✓ 客製化超微量分析測試

和友檢驗科技有限公司成立於西元2017年，為台中市中台科技大學育成中心輔導之專業服務機構，以社會服務與培育專業人才為宗旨，結合職業安全衛生研究，提供專業之職業衛生管理諮詢與檢測分析服務，成立以來已獲國內製造業、食品業、運輸業等各領域事業單位委託提供服務。

和友將以職業安全衛生學術研究為後盾，提供客製化分析、環境測定與數據判讀，保障作業勞工健康。



「作業環境測定」とは「作業環境の実態を把握するため空気環境その他の作業環境について行うデザイン、サンプリングおよび分析（解析を含む）」をいい、労働者の健康確保のため、台湾と日本両国の法律で定期的な実施が義務付けられています。和友は台湾政府労働省の認可を得て、日系企業の皆様にも専門的なサービスを提供いたします。



# 產地到餐桌 產銷一條龍

## 1 源頭

步步用心、層層把關

- 契作漁場經過至少30項查核項目
- 安永查核人員親自訪視每家漁場

## 2 選品

隻隻選品、火眼金睛

- 漁場職人清晨入池挑選
- 確保魚身完整、健康無破損

## 3 急送

限時急送、鮮美入庫

- 上岸後限時急送入庫
- 運送全程控管水質溫度

## 4 品檢

批批檢驗、人性管理

- 魚鮮製程通過257項查核項目
- 全程分切使用電解水清潔殺菌

## 5 細胞活存技術

Cells Alive System

- 運用高科技磁場與低周波技術冷凍，宛如現撈
- 高雄彌陀廠-全亞洲第一座大型CAS冷凍保管倉庫

## 6 鮮配

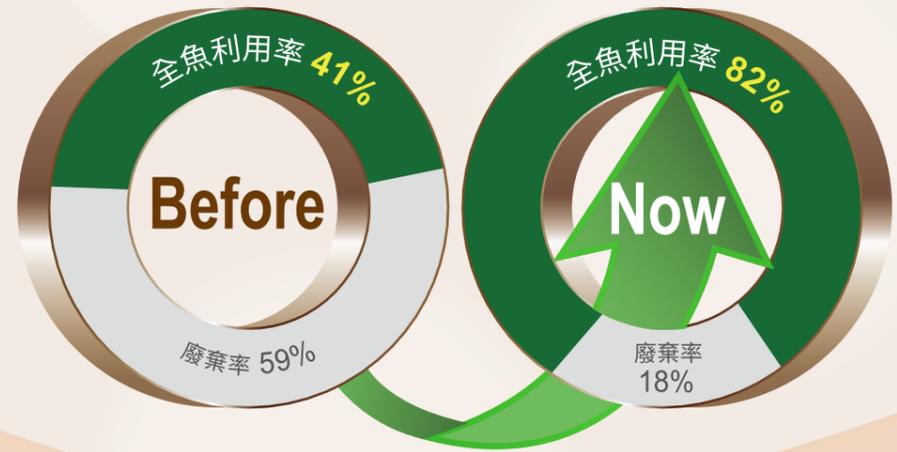
產地品質、直達餐桌

細胞活存技術  
CELLS ALIVE SYSTEM  
ANYO



# 永續經營 全魚利用

領先業界開發三項創新技術，可將鱸魚之全魚利用率由41%提升至82%



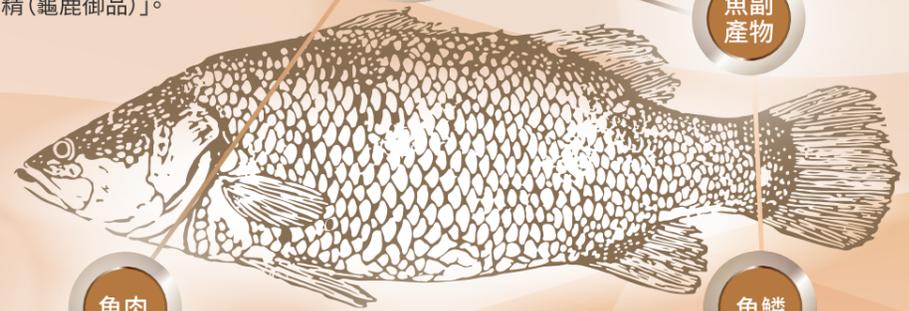
## 全魚利用

### 六連冠金獎鱸魚精

歷經36次試驗，調整精粹比例，打造出最佳肽精華與風味的「安永鱸魚精」、「安永鱸魚精(龜鹿御品)」。

### 低生態負擔 守護海洋

魚精萃取後魚副產物回收再利用，開發肽和寵物食品，提升全魚經濟價值，降低能源與資源消耗。



### 頂級鮮味 直送餐桌

全國最優質安心水產，經CAS細胞活存技術冷凍加工，製成小家庭方便料理的魚片、魚排、魚丸、料理包與藥膳。

### 嚴選天然原料 保濕護膚

滿滿膠原蛋白，利用魚膠原肽開發護膚產品「安永膠原蛋白青春凍」、「膠原潤澤面膜」系列。



線上購物 anyongfresh.com